



2023年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2022年7月29日

上場会社名 株式会社 小松製作所 上場取引所 東
 コード番号 6301 URL <https://www.komatsu.jp/ja>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 啓之
 問合せ先責任者 (役職名) サステナビリティ推進本部 (氏名) 山下 千津子 TEL 03-5561-2616
 コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日
 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	763,808	17.8	93,562	51.5	112,475	83.0	80,454	96.7
2022年3月期第1四半期	648,266	41.3	61,750	129.4	61,454	115.7	40,892	151.6

(注) 四半期包括利益 2023年3月期第1四半期 280,566百万円 (378.3%) 2022年3月期第1四半期 58,654百万円 (73.0%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	85.11	85.10
2022年3月期第1四半期	43.27	43.26

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	4,815,083	2,573,336	2,445,265	50.8	2,586.73
2022年3月期	4,347,522	2,356,277	2,232,511	51.4	2,361.66

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	40.00	-	56.00	96.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	48.00	-	48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000,000	7.1	346,000	9.1	333,500	2.8	226,000	0.5	239.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 0社（社名）、除外 0社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	973,145,800株	2022年3月期	973,145,800株
2023年3月期1Q	27,832,773株	2022年3月期	27,833,236株
2023年3月期1Q	944,422,704株	2022年3月期1Q	944,176,181株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、次の100年に向けて新たな価値創造を目指し、本年4月より2025年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「DANTOTSU Value - Together, to “The Next” for sustainable growth」をスタートしました。①イノベーションによる成長の加速、②稼ぐ力の最大化、③レジリエントな企業体質の構築を成長戦略の3本柱として掲げ、収益向上とESG課題解決の好循環による持続的成長を目指すサステナビリティ経営を引き続き重視し、需要変動に左右されにくい事業構造の構築に向け、活動を進めています。

本中期経営計画の初年度となる2023年3月期の第1四半期（2022年4月1日から2022年6月30日まで）において、連結売上高は7,638億円（前年同期比17.8%増加）となりました。建設機械・車両部門では、一般建機・鉱山機械ともに北米、アジアを中心に需要が好調に推移しました。サプライチェーンの混乱による生産及び販売への影響が継続しているものの、クロスソーシングの活用などにより新車需要の拡大を着実に取り込みました。また資源価格の上昇により鉱山機械の需要が好調に推移したことに加え、円安の影響もあり売上高は前年同期を上回りました。産業機械他部門では、半導体産業向けエキシマレーザー関連事業においては、世界的な半導体需要の増加により、売上げが好調に推移したものの、自動車産業向けの鍛圧機械、板金機械、工作機械については、中・大型プレスの売上げが減少したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

利益については、資材価格や物流コスト上昇の影響はあるものの、建設機械・車両部門における各地域での販売価格の改善や円安の影響により、営業利益は936億円（前年同期比51.5%増加）となりました。売上高営業利益率は前年同期を2.7ポイント上回る12.2%、税引前四半期純利益は1,125億円（前年同期比83.0%増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は805億円（前年同期比96.7%増加）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 109.9円 1ユーロ = 131.7円 1豪ドル = 84.5円	当第1四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 127.1円 1ユーロ = 136.9円 1豪ドル = 92.0円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	648,266	763,808	17.8%
建設機械・車両	594,347	715,324	20.4%
リテールファイナンス	20,453	19,939	△2.5%
産業機械他	40,843	34,540	△15.4%
消去	△7,377	△5,995	—
セグメント利益	60,912	94,368	54.9%
建設機械・車両	53,650	83,326	55.3%
リテールファイナンス	3,215	7,713	139.9%
産業機械他	4,203	3,527	△16.1%
消去又は全社	△156	△198	—
営業利益	61,750	93,562	51.5%
税引前四半期純利益	61,454	112,475	83.0%
当社株主に帰属する四半期純利益	40,892	80,454	96.7%

（注）セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

[建設機械・車両]

建設機械・車両部門の売上高は7,153億円（前年同期比20.4%増加）、セグメント利益は833億円（前年同期比55.3%増加）となりました。

中期経営計画における成長戦略3本柱の1つである「イノベーションによる成長の加速」においては、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（AHS）の導入を推進し、6月末時点の総稼働台数は累計541台となりました。本年6月には英資源大手が保有するチリの銅鉱山でAHSを初めて導入しました。また、本年6月に米国のエンジンメーカーと水素燃料電池ソリューションを含め、鉱山向けダンプトラックのゼロエミッション動力源の技術開発について市場導入の実現に向けて協議を開始しました。

「稼ぐ力の最大化」については、林業機械事業において、2014年より植林機に関して協業していたスウェーデンの林業機械アタッチメントメーカーの買収を決定しました。また、同社と共同開発した自動運転の植林機の導入をブラジルにおいて推進しました。坑内掘りハードロック事業においては、坑内掘り鉱山向けの通信デバイスと坑内測位による最適化プラットフォームのプロバイダーである豪州の会社の買収を決定しました。また、本年4月より国内において小型ブルドーザー「D27A/P/PL-10」を発売開始しました。一般土木向けにコマツが独自にサイズ展開している機種で、作業量を大幅に向上させるなどモデルチェンジしました。

「レジリエントな企業体質の構築」については、コマツマイニング（株）の新本社工場が竣工し、生産設備の移管を進め順次量産を開始しました。従来点在していた本社や生産工場を集約することで効率化、生産性向上を推進しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A]	当第1四半期 連結累計期間 [B]	増減	
			金額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	63,940	66,675	2,735	4.3%
北米	134,788	184,100	49,312	36.6%
中南米	93,742	120,007	26,265	28.0%
米州	228,530	304,107	75,577	33.1%
欧州	60,126	66,146	6,020	10.0%
CIS	44,120	38,084	△6,036	△13.7%
欧州・CIS	104,246	104,230	△16	△0.0%
中国	31,744	19,185	△12,559	△39.6%
アジア※	51,212	91,365	40,153	78.4%
オセアニア	71,252	69,022	△2,230	△3.1%
アジア※・オセアニア	122,464	160,387	37,923	31.0%
中近東	11,303	20,078	8,775	77.6%
アフリカ	30,782	38,966	8,184	26.6%
中近東・アフリカ	42,085	59,044	16,959	40.3%
合計	593,009	713,628	120,619	20.3%

※ 日本及び中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

日本では、公共工事及び民間工事向けに新車販売が増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

<米州>

北米では、一般建機の需要は住宅建設、インフラ、レンタル向けが好調に推移し、エネルギー関連向けも回復基調となりました。加えて鉱山機械の販売が増加したことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

中南米では、一般建機及び鉱山機械の需要が好調に推移しました。チリの銅鉱山向け鉱山機械の販売が増加したことや、ブラジルを中心に一般建機の需要が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、サプライチェーンの混乱などにより主要市場であるドイツ、英国、フランスを中心に需要は減少したものの、販売価格の改善などにより売上高は前年同期を上回りました。

CISでは、ウクライナ情勢に起因したサプライチェーンの混乱や金融・経済の不透明な状況の影響から、ロシア現地へ出荷済みもしくは現地の在庫のみ販売したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

<中国>

中国では、経済活動の停滞に加え、新型コロナウイルス感染再拡大によるロックダウンなどの影響もあり需要が低迷したことから、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、インドネシアにおける石炭向け鉱山機械の需要が好調であったことに加え、インドネシア、マレーシアなどにおける一般建機の需要が好調であったことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

オセアニアでは、鉱山機械及び一般建機の需要が前年同期並みに堅調に推移しました。部品・サービス売上げは増加したものの、新車販売が減少したことから売上高は前年同期を下回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、サウジアラビアやUAEなどの産油国での一般建機の需要が好調に推移したことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

アフリカでは、鉱山機械及び一般建機の需要が好調であったことから、売上高は前年同期を上回りました。

[リテールファイナンス]

リテールファイナンス部門では、一般建機及び鉱山機械の販売増加に伴い、新規取組高が増加したものの、前年同期に一部リース車を中古車として販売した影響もあり、売上高は199億円（前年同期比2.5%減少）となりました。セグメント利益は、為替の影響に加え、貸倒引当金の減少などにより、77億円（前年同期比139.9%増加）となりました。

[産業機械他]

産業機械他部門では、半導体産業向けエキシマレーザー関連事業においては、世界的な半導体需要の増加により、売上げが好調に推移したものの、自動車産業向けの鍛圧機械、板金機械、工作機械については、中・大型プレスの売上げが減少したことなどから、売上高は345億円（前年同期比15.4%減少）、セグメント利益は35億円（前年同期比16.1%減少）となりました。

コマツNTC（株）では、国内電池メーカーより車載電池製造装置の大型案件を初受注し、当該事業の強化を図りました。また、ギガフォトン（株）では、半導体産業向けのエキシマレーザー関連事業の需要増加に対応するため、新生産棟建設に向けた取り組みを進めました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**<財政状態>**

当第1四半期連結会計期間末は、米ドルなどに対して為替が前期末に比べ円安となったことに加え、棚卸資産などの増加により、総資産は前期末に比べ4,676億円増加の4兆8,151億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ2,165億円増加の1兆1,639億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ2,128億円増加の2兆4,453億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ0.6ポイント減少の50.8%となりました。

<キャッシュ・フロー>

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加などにより、23億円の支出（前年同期比669億円の収入減少）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、334億円の支出（前年同期比38億円の支出増加）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの発行などにより、731億円の収入（前年同期は436億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ682億円増加し、3,835億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月28日に公表しました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 - ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
該当事項はありません。

 - ②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2022年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	315,360		383,543	
定期預金	1,310		1,083	
受取手形及び売掛金	954,580		994,938	
棚卸資産	988,011		1,174,640	
その他の流動資産	162,020		187,377	
流動資産合計	2,421,281	55.7	2,741,581	56.9
長期売上債権	501,868	11.5	579,155	12.0
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	45,913		49,730	
投資有価証券	8,377		10,154	
その他	3,493		3,465	
投資合計	57,783	1.3	63,349	1.3
有形固定資産	819,749	18.9	852,172	17.7
オペレーティングリース使用权資産	61,516	1.4	63,924	1.3
営業権	187,615	4.3	206,002	4.3
その他の無形固定資産	169,003	3.9	177,535	3.7
繰延税金及びその他の資産	128,707	3.0	131,365	2.8
資産合計	4,347,522	100.0	4,815,083	100.0

区分	前連結会計年度末 (2022年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2022年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	241,746		409,851	
長期債務 －1年以内期限到来分	276,623		278,754	
支払手形及び買掛金	338,974		347,433	
未払法人税等	68,337		44,597	
短期オペレーティングリース負債	16,981		17,551	
その他の流動負債	381,360		410,849	
流動負債合計	1,324,021	30.5	1,509,035	31.4
固定負債				
長期債務	429,011		475,266	
退職給付債務	93,407		96,326	
長期オペレーティングリース負債	43,458		45,261	
繰延税金及びその他の負債	101,348		115,859	
固定負債合計	667,224	15.3	732,712	15.2
負債合計	1,991,245	45.8	2,241,747	46.6
(純資産の部)				
資本金	69,393		69,219	
資本剰余金	139,572		135,444	
利益剰余金				
利益準備金	47,903		47,988	
その他の剰余金	1,902,501		1,929,907	
その他の包括利益 (△損失) 累計額	122,414		312,036	
自己株式	△49,272		△49,329	
株主資本合計	2,232,511	51.4	2,445,265	50.8
非支配持分	123,766	2.8	128,071	2.6
純資産合計	2,356,277	54.2	2,573,336	53.4
負債及び純資産合計	4,347,522	100.0	4,815,083	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	648,266	100.0	763,808	100.0
売上原価	475,081	73.3	545,401	71.4
販売費及び一般管理費	112,273	17.3	124,039	16.2
その他の営業収益 (△費用)	838	0.1	△806	△0.1
営業利益	61,750	9.5	93,562	12.2
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	992	0.2	2,236	0.3
支払利息	△2,967	△0.5	△4,672	△0.6
その他 (純額)	1,679	0.3	21,349	2.8
合計	△296	△0.0	18,913	2.5
税引前四半期純利益	61,454	9.5	112,475	14.7
法人税等	18,030	2.8	29,515	3.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	43,424	6.7	82,960	10.9
持分法投資損益	761	0.1	1,045	0.1
四半期純利益	44,185	6.8	84,005	11.0
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	3,293	0.5	3,551	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	40,892	6.3	80,454	10.5
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		43.27円		85.11円
希薄化後		43.26円		85.10円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	44,185	84,005
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	12,230	197,525
年金債務調整勘定	1,378	176
未実現デリバティブ評価損益	861	△1,140
合計	14,469	196,561
四半期包括利益	58,654	280,566
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	3,180	11,966
当社株主に帰属する四半期包括利益	55,474	268,600

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期 連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	44,185	84,005
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	34,250	36,177
法人税等繰延分	2,310	5,218
投資有価証券評価損益及び減損	△110	△272
固定資産売却損益	△317	135
固定資産廃却損	614	317
未払退職金及び退職給付債務の増減	△3,022	△451
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	7,092	29,735
棚卸資産の増減	△23,196	△90,720
支払手形及び買掛金の増減	1,227	△8,007
未払法人税等の増減	△1,067	△24,978
その他(純額)	2,630	△33,506
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	64,596	△2,347
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△37,976	△36,378
固定資産の売却	8,520	4,212
投資有価証券等の売却	1	263
投資有価証券等の購入	—	△1,365
子会社及び持分法適用会社株式等の取得(現金取得額との純額)	—	262
その他(純額)	△205	△438
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△29,660	△33,444
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	133,088	165,907
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△142,798	△126,026
満期日が3カ月以内の借入債務の増減(純額)	5,345	95,769
配当金支払	△34,986	△52,963
その他(純額)	△4,244	△9,561
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△43,595	73,126
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,412	30,848
現金及び現金同等物純増減額	△7,247	68,183
現金及び現金同等物期首残高	241,803	315,360
現金及び現金同等物四半期末残高	234,556	383,543

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	593,009	14,757	40,500	648,266	—	648,266
(2) セグメント間の内部売上高	1,338	5,696	343	7,377	△7,377	—
計	594,347	20,453	40,843	655,643	△7,377	648,266
セグメント利益	53,650	3,215	4,203	61,068	△156	60,912

当第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	713,628	16,251	33,929	763,808	—	763,808
(2) セグメント間の内部売上高	1,696	3,688	611	5,995	△5,995	—
計	715,324	19,939	34,540	769,803	△5,995	763,808
セグメント利益	83,326	7,713	3,527	94,566	△198	94,368

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、地下鉱山機械、環境リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鑄造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、光学機械

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第1四半期連結累計期間	80,193	242,880	108,664	41,102	133,094	42,333	648,266
当第1四半期連結累計期間	82,651	319,029	109,234	23,121	170,507	59,266	763,808

※ 日本及び中国を除きます。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。